

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	彩の森入間公園
指定管理者	入間公園・西武パートナーズ
評価対象年度	平成24年度
施設所管課所	飯能県土整備事務所

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の平等な都市公園の利用の確保	平等利用の確保	A	条例及び事業計画書で定められた供用日、供用時間で運営した。
	利用料金の適切・公平な徴収	A	・利用料金の徴収は適切に行われている。 ・利用料金は管理センター内での掲示や公園ホームページで公開するなど周知に努めた。
	苦情・要望等への適切な対応	A	・苦情・要望等へ迅速に対応した。 ・利用者アンケートによりニーズを把握し、分析のうえそれを基に利用者満足度調査報告書を作成し、さらなる改善への反映を行った。
関係する法令等を遵守した適正な都市公園の運営	法令等の遵守	A	・ジョギングコースの逆走、部活等の集団走行など、危険につながる利用に対して、利用者へ適宜指導を行った。 ・利用許可等は審査基準に従い、適切に行われた。
	適切な各種手続き	A	・基本協定に基づく、承認申請、報告は適切に行われた。 ・受動喫煙防止に関する必要な措置が適切に行われた。
都市公園の設置目的を効果的に達成した効率的運営	事業の実施	A	・事業計画どおり事業が実施された。 ・地元入間市へ積極的に働きかけ健康増進に基づいた各種イベント開催を誘致した。
	安全性の確保	A	・施設、設備について適切な点検が行われ、管理瑕疵に起因する事故は1件も発生しなかった。 ・台風時には、倒木等の撤去を速やかに行った。 ・安全・視認性を良くし安全性を確保するため高木の下枝剪定がなされた。
	防災等適切な管理の履行	A	・危険箇所などのスタッフの情報共有については、毎日、連絡帳ノートを作成し申し送りするほか、管理運営業務日報を作成し、毎日、問題点を記載して整理し、さらに、毎月職員会議を開き、スタッフ全員で情報共有を行った。 ・地震を想定した防災訓練や西武造園グループ関係公園全体での防災連携訓練を行うなど、防災体制の強化を図った。
指定管理業務を行う経営基盤	収支の適正な管理	A	・指定管理者以外への支出はなかった。 ・会計は独立した収支管理を行った。
	事業計画との整合性	A	・適正に会計書類を整備すると共に必要な保険に加入した。
その他	個人情報の適切な管理	A	必要最小限の個人情報の取扱いに努め、個人情報保護マニュアルに基づき、個人情報の保護を適切に行った。
	県内中小企業及び環境への配慮	A	修繕工事の発注に際しては、特殊技術・材料を必要とするもの以外は県内中小企業への発注に配慮した。
総合評価		A	公園の特性を活かし、地域住民をはじめ多くの県民との協働による事業の実施により、利用者に親しまれる公園管理が適正になされた。

特記事項	特に評価すべき点	・アンケートにより利用者の声を把握分析のうえ、利用者満足度調査報告書を作成し、さらなる改善への反映を行っていること。 ・自治体をはじめ、地元の団体等の公園利用による地域振興、健康づくりの場に寄与していること。
	次年度に向けて改善が望まれる点	特になし